



若 木

羽村市立武蔵野小学校

令和 5 年 1 月 1 0 日 第 1 1 号

ith コロナ 新たな学びに挑戦

新年、明けましておめでとうございます

校長 海東 朝美

令和 5 年の年明けです。よく晴れ渡った穏やかな新年を迎えました。冷たく張りつめた元旦の朝、初日の出を見詰め、新しい年に向かう気持ちを高めました。昨年中は、保護者・地域の皆様には、たくさんのご支援・ご協力をいただき、安心・安全に学校生活が送れましたこと、心より感謝申し上げます。

さて、今年は卯年です。十二支の四番目に当たり、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。十二支を植物の一生と考えると、「芽を出した植物が成長していき茎や葉が大きくなる時期で、目に見えて大きく成長することから、新しいことに挑戦するのに最適な年」とも言われているそうです。今年こそ、新型コロナウイルス感染症が終息に向かい、子供たちの未来に向かう扉が開かれていく年でありたいですね。この一年が皆様にとって、次に繋がる飛躍の一年となりますようお願いしています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

令和 5 年のキーワード 「多様な他者とつながる」と「自己決定力」

今年度ほど、対面で学び合うことの大切さの重要性を痛感した年は、ありませんでした。これからの急激な変化が加速する時代、少子高齢化に突入し、児童数・学級数の減少に伴い、教員の規模も縮小、コロナ禍による地域とのつながりの喪失・・・学校は、大きな転換期を迎えています。こんな時だからこそ、人と人がつながり、人とのつながりから自己の成長を確認していくことが求められるのではないのでしょうか。

武蔵野小学校は、地域に支えられた学校です。地域には多くの学校教育への協力者がいらっしやいます。地域は人材の宝庫です。このような多様な他者とつながり、双方向に学び合う過程を大切にしたい協働の場こそが、子供たちが自分で意志決定をし、自分を変えていく場になると考えます。一番身近な学級・学年の友だちや異学年の仲間、そして中学生が手本となって小学 6 年生に範を示しながら学びを繋げていく横の関係、そして一番の理解者である保護者に、できるようになったことを誉めてもらう縦の関係、そして、地域の方々と双方向につながって学ぶ斜めの関係、これらの 3 つのつながり方を、たくさん学校教育に取り入れていく年でありたいです。保護者の皆様、地域の皆様、これまで以上に子供たちの成長に向け、お力をお貸しください。

子供たちも、大人も大きく成長する年になりますよう、そして武蔵野小学校がより活力みなぎる地域の学校として発展していくことを祈念いたします。

学校アンケート結果

学校アンケートへのご回答のご協力、大変ありがとうございました。今回の学校アンケートは、作年度に引き続き、ネット配信によるアンケート形式でした。回収率は昨年度の 51%には届きませんでしたが、自由意見等では、本校の前向きな教育活動を推進する教職員に向けた労いの言葉も寄せていただきました。これからの子供たちの教育に、より力を発揮していきたいと考えています。また、日常の担任対応に対する困りごとにも記されており、お子様の教育に、保護者の皆様が丁寧に向き合っていたいただいている様子が窺えました。中には、もっと早くお知らせいただくと早期対応ができた事案もあり、保護者の皆様のご意見を伺う機会をもっと設けていく必要を感じています。学校は、いつでも子供たち・保護者の皆様のご相談に耳を傾ける体制を整えています。年に一回の機会を待たずに、ご一報をお願いいたします。

これらの自由記述には、全教職員で目を通し、いただいたご意見には真摯に向き合っており、参ります。お褒めいただいた点は、さらに推進し、至らなかつた点は、教員一人一人の面談を通しながら指導・改善に向けて努力して参ります。

皆様のアンケート結果へのご意見・ご要望について以下、学校からの回答を記しました。この結果を十分に踏まえつつ、来年度の教育計画を作成して参ります。ご一読いただければ幸いです。なお、回答はご意見の多かつたものや学校運営にかかわるものに絞っています。

1 学校公開・学校行事・情報発信について

コロナ禍に入ってから、学校の様子が見えにくいという意見をいただきながら、改善を図ってきたところです。令和4年度に入り、「With コロナ」を合い言葉に、感染状況を見ながら、できることを再開してきました。予定されていた今年度の未実施の行事は、あと2行事です。学校公開・保護者会の校舎内開催にも踏み切りました。保護者の皆様には、様々なことに臨機応変に対応していただき、心より感謝申し上げます。また、地域の方々のご来校についても、子供たちの学習支援や授業公開に限って、コロナ対策を取りながら、制限を外しました。

また、端末を活用した保護者・地域参加型の学習にも挑戦したり、子供たちの日常の活動の様子をブログにて、ほぼ毎日写真や動画で配信したり、長期欠席の対応におけるオンライン授業の体制も整ってきました。しかし、皆様からの要望に応えたブログの閲覧者数は、現在伸び悩みの状況にあり、とても残念です。毎日の子供たちの様子をご理解いただける内容です。ぜひ、覗いてみてください。このように情報発信が進みますと、配慮が必要となるのが、個人情報の扱いです。配信NGのご家庭に配慮し、掲載許可を確認したり、期間限定配信の工夫を加えたりしながら情報発信にも努めています。

また、ご意見には、「学校公開のYouTube配信」という要望もありましたが、個人情報保護の観点や編集を必要とする時間的な課題があり、一部検討中です。生配信につきましては、この限りではありませんので、機会を見付け、対応していきたいと考えます。それにしても、子供の活躍は、保護者・地域の皆様の目で実際に確認していただくことが一番です。学校はいつでも・どこでも参観を受け付けております。お声掛けください。

さらに、学校だよりや各学年のお知らせ等のデジタル化、学校HPページの充実、端末の毎日の持ち帰り等にも改善を図っていききたいと考えます。そして、保護者の皆様には、できるだけ早く情報をお届けできるよう、マチコミメール等も活用して努めて参ります。

なお、端末の毎日の持ち帰りについて、今後お試し期間を設けます。2月から3月10日までの約1ヶ月間、低学年を除き、端末バックに端末と充電器を入れて持ち帰ります。eラーニングの宿題を自身の端末で取り組む練習です。充電は、ご家庭で行っていただき、端末のみを毎日持ち歩く形を取ります。Wi-Fi環境の整わないご家庭にもeラーニングは取り組みますのでご安心ください。基本、学習以外には端末の活用はできないという約束となっています。通信や検索・使用時間の制限等につきましては、ルールを順守の上、ご家庭でのご確認とご協力をお願いいたします。

2 改善要望について（低学年での性別の着替え・給食での食育指導・宿題の内容、出し方、回収対応の方法、いじめについての指導、子供同士のトラブル対応、特別支援学級への保護者理解）

様々なご意見をいただきました。今後、教職員全員で検討・見直しを図って参ります。随時、改善の方向がまとまりましたら、ご報告いたします。

3 教員の指導について（子供に寄り添った的確な指導）

教員の指導について、取組への評価や労いのお言葉、ありがとうございます。教員にとって1人1人の子供に寄り添った指導は、子供の学ぶ意欲を育て、大きな成長に繋げる大事な視点です。個に応じた授業作りや主体的に学ぶ力を育てる授業の構築、学習・生活規律を身に付けた子供たちの育成は、教員が最も質を高めていかなければならないところですが、形だけ整える様な指導では、子供の心には届かない対応となってしまうがちです。指導の中で教員の投げかける言葉や対応には、子供たちの成長に大きな影響があることを理解し、また人権感覚を身に付け、子供に寄り添った指導に徹していくことが教員の使命であると考えます。教員は常に子供たちを成長に導く教育者であるとともに、保護者の皆様の困りごとに寄り添い、皆様が幸せな人生を送っていただけるよう応援する支援者でもあります。学校は、このような人材作りにも力を入れ、さらなる子供たちへの寄り添いに心がけ、指導の質を高めて参ります。

5 その他（プログラミング教育・英語検定の実施）

今年度より、放課後学習教室が「未来創り広場」に変わりました。多くの子供たちに向けた端末を活用した実践学習や技能検定等を取り入れた学びの場として、機会を設けました。英語検定には、10名ほどの子供たちが挑戦し、レベルの合わせた賞を取得しました。また、1月には6年生全員を対象とした無料の英語技能検定の機会があります。お陰様で、低学年の英語教育・中学年の外国語活動・高学年の外国語については、ALTやJETを活用した授業が計画通り推進し、英語を使った簡単なコミュニケーションに物怖じすることなく、積極的に取り組もうとする子供たちの様子が見て取れます。特に、5・6年生に至っては、日本と同様、英語を第二外国語とする海外の学校のメール交換やTV電話、互いの街自慢プレゼンテーションの交換などにも挑戦しています。

プログラミング教育については、「武蔵野情報科」を位置付けており、プログラミングソフトを使って、年間を通してプログラミング的論理的思考力の育成を図っています。

6 小中一貫教育について

両校がしっかりと連携を深め、9年間を見通した教育活動の充実を図っていきます。施策等についてのご意見は、羽村市教育委員会へ報告いたしました。

<学校アンケート集計結果のまとめ>

学校の教育活動に関する質問に対して、多くの項目で、80%程度のプラス評価を得ている。

項目4【特色ある教育】については、90.8%と最も高い数値を得ることができた。これは、特色である「地域と繋がる学び」において、学校、保護者、地域が三位一体となって、子供の学びの充実を図れたことが要因と考える。また、項目12【児童は、楽しく登校しているか】の質問に対する回答では、87.3%と、多くの児童が楽しく登校していることが読み取れた。これも、特色である「地域と繋がる学び」において、体験学習やプロジェクト型の探究学習を推進した事で、子供の学習意欲を高める事ができたことに起因すると考える。来年度も継続して更なる充実を図っていく。

その一方で、項目1【小中一貫教育】、項目10【家庭教育への支援】では、プラス評価が70%に満たない結果となった。項目10【家庭教育への支援】については、1人1台端末を活用した家庭学習(AI搭載型の個別ドリル学習)の取り組みを本格実施することで、学校と家庭で連携しながら、学習内容や個々の課題を共有し、子供の基礎的・基本的な学力の定着を図っていく。

項目1【小中一貫教育】については、隣接型小中一貫教育として市内でも一番色濃いつながりを図っている。評価の低いことに対する自由意見としては、一校同士のため子供の数が少ないことで、「部活が成立しなくなる」「他校と交わらないことから刺激が少ない」等、中学進学に不安を抱いていることが読み取れる。反面、きめ細かい指導が行き渡ること、小学校からの学びを成果に結び付け、学力向上を図っていることがメリットとして挙げられる。

令和4年度 武蔵野小学校「学校アンケート」集計結果

質問項目(市内共通)	肯定割合 ※評価4、3の 合計
4：よくあてはまる 3：ややあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：全くあてはまらない	
1【小中一貫教育】 学校は、小中一貫教育を通して、児童の個性や能力の伸長に向けて小学校と中学校の教育をつなぐ努力をしている。	64.8%
2【確かな学力の定着】 学校は、児童に確かな学力を身に付けられるよう努力している。	77.3%
3【授業改善】 教員は、楽しく分かりやすい授業のために工夫する努力をしている。	81.0%
4【特色ある教育】 学校は、地域や児童の実態を踏まえ、特色ある学校づくりに向けて努力している。 (地域人材や外部講師とつながり、子供の学びを充実させようとしている。)	90.8%
5【教育課題・安全教育】 学校は、交通安全、生活安全*、災害安全等、安全に関わる教育内容の充実を図る努力をしている。 (*不審者、インターネット等の対応)	88.2%
6【人権教育・道徳教育】 教員は、自他を大切に作る心の育成やきまりについての指導、物事の善悪の指導などを適切に行う努力をしている。	79.4%
7【特別支援教育・教育相談】 学校は、個に応じた支援ができるよう多くの人材(特別支援教育支援員、教育相談員、スクールカウンセラー等)を活用し、特別支援教育や教育相談の充実に努めている。	84.0%
8【いじめ・不登校対応】 学校は、児童や保護者の相談に対して親身に対応し、いじめや不登校などへの防止や対応を適切に行う努力をしている。	76.5%
9【教育活動の公開】 学校は、学校の様子を積極的に伝え(学校公開、学校便り、学校公式サイト等)、教育活動の公開に努めている。	75.7%
1.0【家庭教育への支援】 学校は、保護者が児童の教育に役立つように、家庭教育への支援を適切に行う努力をしている。(保護者会、面談、家庭学習、親学、家庭教育セミナー等)	67.0%
1.1【児童・生徒理解に基づく指導】 学校は、体罰等の防止に努め、児童との信頼関係に基づく指導を行う努力をしている。	81.0%
1.2 児童は、学校に楽しく登校している。	87.3%
1.3 児童は、家庭学習をする習慣が身に付いている。	75.5%